

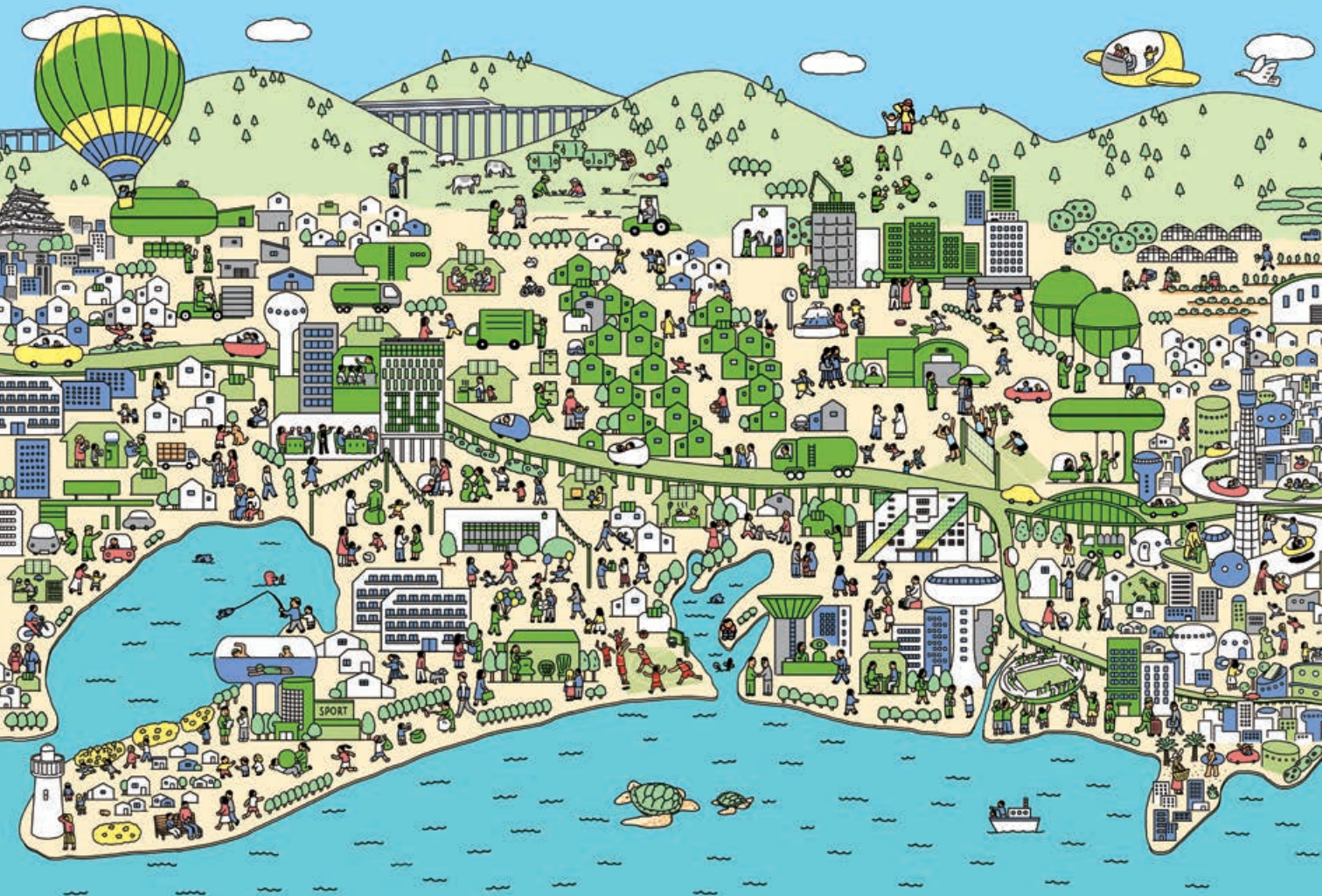
第20期

株主通信

生活にファインクオリティ

sala

2020年12月1日から2021年11月30日まで



証券コード: 2734

株式会社サーラコーポレーション

私のまちにSALA、暮らしとともにSALA

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、平素より当社グループにご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社グループの第20期(2020年12月1日～2021年11月30日)の概況についてご報告申し上げます。



連結業績ハイライト

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化したことにより国内外の経済が抑制されるなど、景気の先行きは不透明な状況が続きました。サラーグループにおきましては、地域のお客さまや役職員の安全のため政府の方針等を踏まえて、在宅勤務や交代勤務の実施により感染拡大の抑制に取り組むとともに、新たな生活様式に対応したお客さまとの関係づくりに注力しました。

当期は第4次中期経営計画の2年目として、コロナ禍のなか同計画の目標を達成するため、各施策に積極的に取り組みました。エネルギー&ソリューションズ事業のサラーエナジー(株)は、法人向け太陽光発電システム第三者所有モデル「サラーのゼロソーラーサービス」事業を開始しました。エンジニアリング&メンテナンス事業におきましては、お客さまとの接点強化による取引拡大を進めたほか、営業、施工、サポート部門のプロセス管理を改善することにより収益基盤の強化



代表取締役社長 兼
グループ代表・CEO

神野 重郎

に努めました。ハウジング事業のサーラ住宅(株)は、住まいビジネスを推進するプロジェクトを立ち上げ、住まい関連サービスの複合提案やメンテナンスを通じたお客さまとの接点強化に努めました。また、グループ内で組織再編を行い、デジタル技術を活用したお客さま情報の利活用を推進する体制を整えました。

当期の経営成績につきましては、一部の事業において新型コロナウイルス感染症の影響がみられたものの、グループ全体としましては順調に推移し、売上高は227,935百万円と前期比7.7%増加しました。利益面はハウジング事業及びカーライ

フサポート事業において大幅な増益となったほか、プロパティ事業における分譲マンションの引渡しに伴う増益効果により、営業利益は6,592百万円と前期比11.0%増加しました。経常利益は営業外収益の為替予約に係るデリバティブ評価益は縮小しましたが、持分法による投資利益が増加したため、8,312百万円と前期比13.0%増加しました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は、事業用資産の減損損失が縮小したため、5,262百万円と前期比50.6%増加しました。

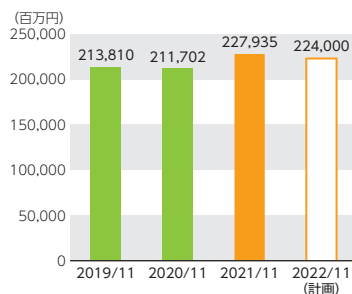
なお、**売上高**、**営業利益**、**経常利益**につきましては、過去最高を記録しました。

売上高

227,935百万円

(前期比7.7%増)

過去最高

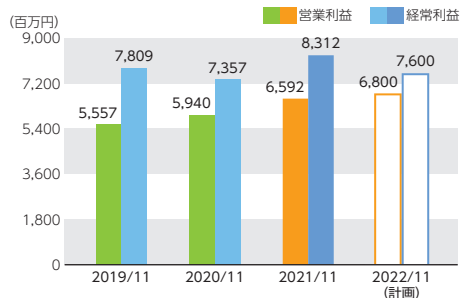


営業利益

6,592百万円

(前期比11.0%増)

過去最高



経常利益

8,312百万円

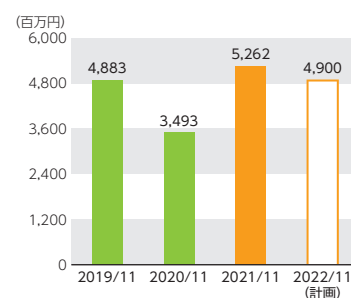
(前期比13.0%増)

過去最高

親会社株主に帰属する当期純利益

5,262百万円

(前期比50.6%増)



※2022年11月期(計画)は、「収益認識に関する会計基準」等が適用されることにより、売上高は減少する計画となっています。

※2022年11月期(計画)には為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響(2021年11月期は、デリバティブ評価益629百万円を計上)を織り込んでいないため、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は減少する計画となっています。

▶ 連結決算のポイントは7～8ページをご覧ください

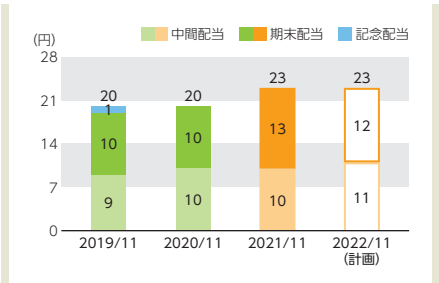
配当について

当社は、配当の基本方針を次のとおり定めております。

為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除く連結配当性向30%を目途として配当を行います。

年間配当金

23円
(前期から3円増配)



当期の期末配当につきましては、配当の基本方針に基づき1株当たり13円といたしました。この結果、当期の年間配当金は中間配当金10円と合わせ、1株当たり23円となります。

なお、為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響を除いた連結配当性向は30.3%です。

次期の連結業績予想について

売上高につきましては、「収益認識に関する会計基準」等が適用されることにより、従来の会計基準を適用した場合と比較して約14,100百万円の減少を見込んでいます。同会計基準の適用に伴い、次期計画における売上高は3,935百万円減少の224,000百万円となりますが、当期比では増収となります。

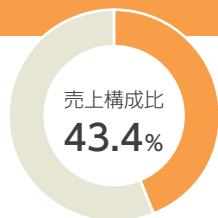
また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、為替予約に係るデリバティブ評価損益の影響(当期はデリバティブ評価益629百万円を計上)を織り込んでいないため、それぞれ減少する計画となっています。

	売 上 高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)
2021 年 11 月 期	227,935	6,592	8,312	5,262
2022年11月期 (予想)	224,000	6,800	7,600	4,900
増 減 率	△1.7%	3.2%	△8.6%	△6.9%

なお、計画どおり推移しますと、営業利益は過去最高となります。

事業セグメント別の概況

エネルギー＆ソリューションズ事業



売上高 **98,983** 百万円 (前期比 **3.4%増**)

過去最高

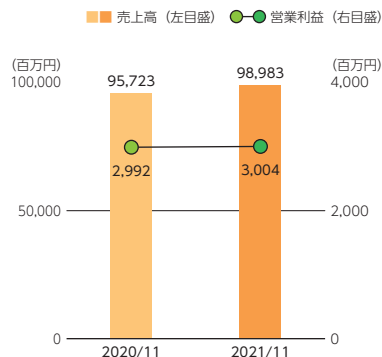
営業利益 **3,004** 百万円 (前期比 **0.4%増**)

業績の概要

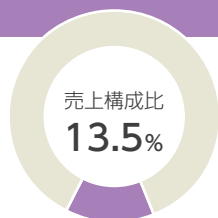
- 原料価格の上昇に対応したLPガス、石油製品の販売価格の改定や、リフォーム関連商材の販売が堅調に推移し、売上高は増加しました。
- 取引先工場の稼働率改善に伴い、工業用の都市ガス販売量が増加したことにより営業利益は増加しました。

次期の取組み

- ◆ 地域のカーボンニュートラル実現に向けて、カーボンニュートラルガスや電気、グリーンリフォームなどの提案を推進します。



エンジニアリング＆メンテナンス事業



売上高 **30,750** 百万円 (前期比 **1.6%増**)

営業利益 **2,286** 百万円 (前期比 **0.1%増**)

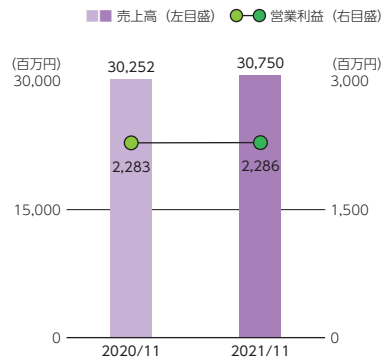
過去最高

業績の概要

- 建築及び土木部門の完成工事が増加したため、売上高は増加しました。
- 設備工事及びメンテナンス部門において利益率の高い完成工事が減少したものの、各部門において工程管理を徹底し、売上原価の低減に努めたことにより営業利益は微増となりました。

次期の取組み

- ◆ サーラグループ各社との連携強化により、省エネ機器の提案や、エネルギー診断などのファシリティサービスに取り組みます。



ハウジング事業



売上高 **38,582** 百万円 (前期比 8.1%増)

過去最高

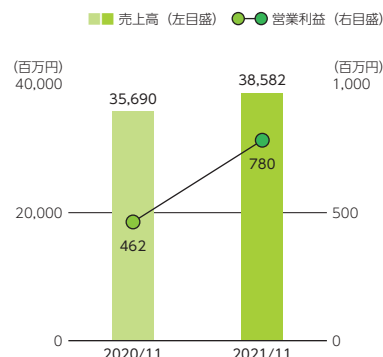
営業利益 **780** 百万円 (前期比 68.8%増)

業績の概要

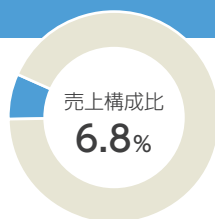
- 住宅販売部門において、分譲住宅は販売プロセスの見直しや早期販売に努めたことにより、販売棟数が増加しました。
- 住宅部資材加工・販売部門は、既存取引先の事業エリア拡大に応じた販売を強化したことから受注が増加しました。

次期の取組み

- ◆ リフォームや中古住宅買取再販など住まいに関する成長事業領域に取り組むことにより、住まい関連事業のビジネスモデルの変革を目指します。



カーライフサポート事業



売上高 **15,539** 百万円 (前期比 19.1%増)

過去最高

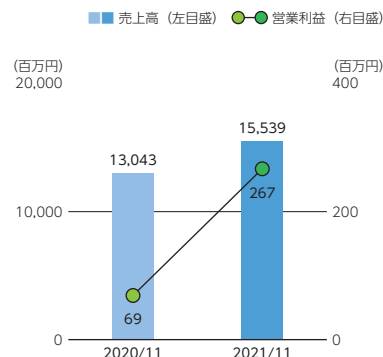
営業利益 **267** 百万円 (前期比 287.9%増)

業績の概要

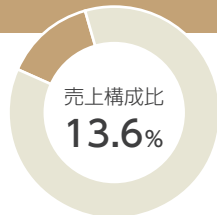
- 半導体不足のため新車の入荷に影響を受けましたが、プロモーション活動の強化などにより、オーディの新車販売台数は増加しました。
- 中古車の拡販に注力したことにより、フォルクスワーゲン、オーディともに中古車販売台数は大幅に増加しました。

次期の取組み

- ◆ 全ての店舗において新車・中古車の販売とサービス部門との連携を高めることにより、お客さまのニーズに応じた最適な提案を実現します。また、店舗のカーボンニュートラル化に着手します。



アニマルヘルスケア事業



売上高 **30,920** 百万円 (前期比 **3.8%増**)

過去最高

営業利益 **727** 百万円 (前期比 **4.1%増**)

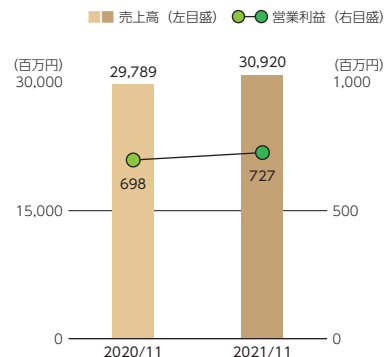
過去最高

業績の概要

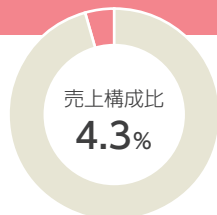
- 畜産部門、ペット関連部門ともに動物用医薬品の販売は好調に推移しました。
- (株) アスコは営業所の統廃合や子会社のホクヤク(株)の吸収合併に向けた準備を進めるなど、営業体制の強化を推進しました。

次期の取組み

- ◆ 市場環境の変化を捉えた新規出店やM&Aなどによる事業規模の拡大を図ります。また、オンラインツールを活用した新たな提案営業スタイルを確立し、拡販に努めます。



プロパティ事業



売上高 **9,736** 百万円 (前期比 **159.5%増**)

過去最高

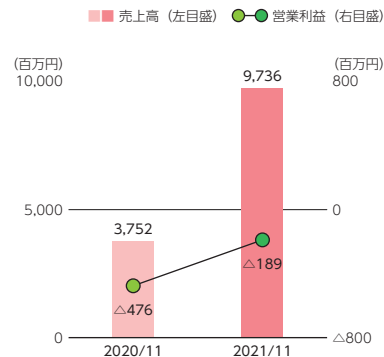
営業利益 **△189** 百万円 (前期は営業利益△476百万円)

業績の概要

- 2021年7月に竣工した分譲マンション「ザ・ハウス豊橋」の引渡しに伴い、売上高は大幅に増加しました。
- 新型コロナウイルス感染症の影響から、ホスピタリティ部門においてホテルやレストランなどの利用客数の減少が続きました。

次期の取組み

- ◆ 豊橋駅前大通二丁目のemCAMPUS(エムキャンパス)EASTにおいて、東三河エリアの企業や大学などと連携し、周辺地域とのコミュニティ形成につながる取組みを推進します。



連結決算の概況

連結貸借対照表(要旨)

[単位:百万円]

科 目	当 期 2021年11月30日	前 期 2020年11月30日
資産の部		
流動資産	81,487	79,940
固定資産	105,994	108,070
有形固定資産	82,923	84,404
無形固定資産	1,488	1,627
投資その他の資産	21,583	22,038
1 資産合計	187,481	188,011
負債の部		
流動負債	64,407	61,964
固定負債	56,374	64,338
2 負債合計	120,782	126,302

[単位:百万円]

科 目	当 期 2021年11月30日	前 期 2020年11月30日
純資産の部		
株主資本	65,074	60,490
資本金	8,025	8,025
資本剰余金	25,269	25,169
利益剰余金	33,365	29,423
自己株式	△1,585	△2,126
その他の包括利益累計額	351	△63
その他有価証券評価差額金	441	725
繰延ヘッジ損益	356	23
退職給付に係る調整累計額	△446	△812
非支配株主持分	1,273	1,281
3 純資産合計	66,699	61,708
負債純資産合計	187,481	188,011

連結決算のポイント

1 資 産

資産は187,481百万円と、前期末と比較して529百万円減少しました。これは主に、「仕掛品」が2,580百万円減少したこと、「商品及び製品」が1,613百万円減少したことに対し、「受取手形及び売掛金」が3,413百万円増加したことによるものです。

2 負 債

負債は120,782百万円と、前期末と比較して5,520百万円減少しました。これは主に、「長期借入金(1年以内返済予定を含む)」が5,182百万円減少したこと、「短期借入金」が2,571百万円減少したことに対し、「支払手形及び買掛金」が3,801百万円増加したことによるものです。

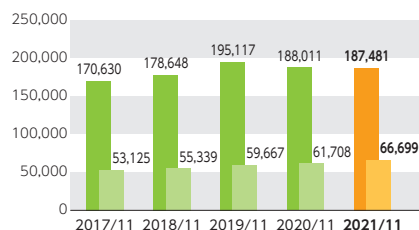
3 純資産

純資産は66,699百万円と、前期末と比較して4,990百万円増加しました。これは主に、「利益剰余金」が3,941百万円増加(親会社株主に帰属する当期純利益の計上により5,262百万円増加、配当の実施により1,320百万円減少)したことによるものです。

財務ハイライト

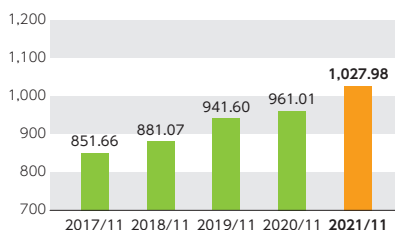
総資産・純資産

総資産 純資産 (単位:百万円)



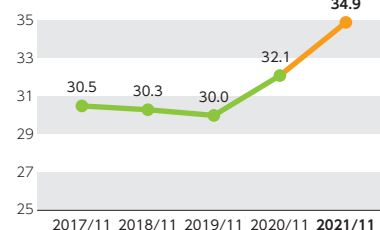
1株当たり純資産

(単位:円)



自己資本比率

(単位:%)



連結損益計算書(要旨)

[単位:百万円]

科 目	当 期 2020年12月1日～ 2021年11月30日	前 期 2019年12月1日～ 2020年11月30日
4 売上高	227,935	211,702
売上原価	169,565	155,011
売上総利益	58,369	56,690
販売費及び一般管理費	51,777	50,750
5 営業利益	6,592	5,940
営業外収益	1,999	1,710
営業外費用	278	293
6 経常利益	8,312	7,357
特別利益	222	251
特別損失	471	1,685
税金等調整前当期純利益	8,064	5,923
法人税、住民税及び事業税	2,405	2,391
法人税等調整額	236	△84
当期純利益	5,422	3,615
非支配株主に帰属する当期純利益	160	122
6 親会社株主に帰属する当期純利益	5,262	3,493

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

[単位:百万円]

科 目	当 期 2020年12月1日～ 2021年11月30日	前 期 2019年12月1日～ 2020年11月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,816	10,791
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,398	△6,120
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,788	△4,861
現金及び現金同等物の増減額	2,629	△189
現金及び現金同等物の期首残高	21,598	21,788
現金及び現金同等物の期末残高	24,227	21,598

4 売上高

プロパティ事業においてホテルやレストランの利用客数が減少するなど、新型コロナウイルス感染症の影響がみられたものの、グループ全体では順調に推移したことから、売上高は227,935百万円(前期比7.7%の増加)となりました。

5 営業利益

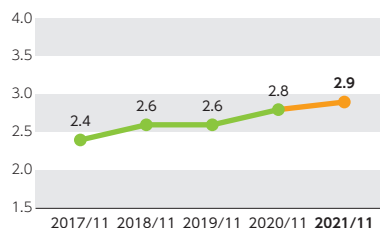
ハウジング事業及びカーライフサポート事業において大幅な増益となったほか、プロパティ事業において分譲マンションの引渡しに伴う売上高増加が寄与し、営業利益は6,592百万円(前期比11.0%の増加)となりました。

6 経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益

経常利益は為替予約に係るデリバティブ評価益が縮小したものの、持分法による投資利益が増加したことにより8,312百万円(前期比13.0%増加)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は5,262百万円(前期比50.6%増加)となりました。

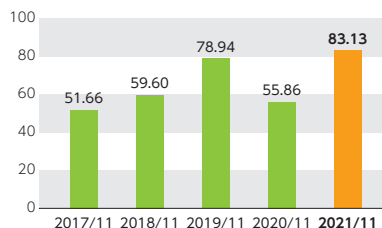
売上高営業利益率

(単位: %)



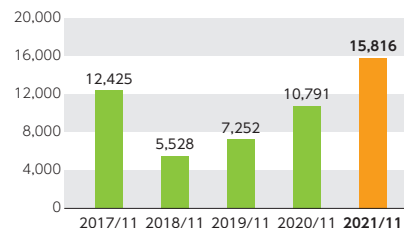
1株当たり当期純利益

(単位: 円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

(単位: 百万円)



2021年11月 豊橋駅前大通二丁目に emCAMPUS(エムキャンパス) EASTが開業

サーラグループは、まちのにぎわいを取り戻し、その魅力を発信することを目的として、豊橋駅前再開発事業に主体的に携わってきました。2008年にはホテルアークリッシュ豊橋を含む総合施設「コクラフロント」、翌2009年には商業施設「コクラアベニュー」を開業しました。

この度、地域活性化に向けた取組みの推進と東三河の魅力を発信する新たな拠点として、2021年11月に「emCAMPUS(エムキャンパス) EAST」を開業しました。emCAMPUSは食・健康・学びを楽しみ、つながりを生み出す「笑む」に満ちたキャンパスとなることを目指しています。

同施設は、サーラグループが開発に携わる1階「emCAMPUS FOOD」と5階「emCAMPUS STUDIO」(詳細は次ページをご覧ください。)のほか、東棟と西棟をつなぐ公共広場「まちなか広場」や2階、3階の「まち



emCAMPUS

“食・健康・学びを楽しみ、つながる
「笑む」に満ちたキャンパス”

なか図書館」、4階の各種行政サービス窓口及び企業オフィスなどで構成されています。また、6階屋上では東三河の先進的農家や料理人で構成されたチームが屋上農園を運営しています。

さらに、emCAMPUSの取組みに関わる生産者や料理人、起業を考える方の想いや取組みに注目した情報を発信するオンラインプラットフォーム「デジタルエムキャンパス」を開設しました。同サイトでは東三河の魅力やemCAMPUSにおける食分野の社会課題解決に向けた挑戦を世界へ発信します。

今後は、emCAMPUS単体ではなく、豊橋駅前から続く地区全体の魅力や価値を高めることにより東三河の持続的な発展を目指します。

なお、西棟「emCAMPUS WEST」は2024年の完成を予定しています。



emCAMPUS EAST 外観



emCAMPUS周辺エリアの概要



エムキャンパス

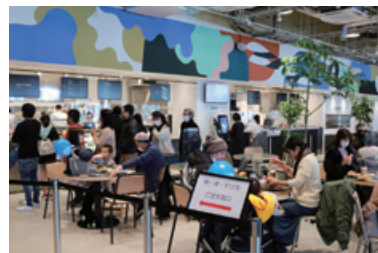


デジタル
エムキャンパス

1 階 食の発信拠点

カラダにも地球にも美味しい東三河の食の発信拠点 「emCAMPUS FOOD」

1 階の「emCAMPUS FOOD」は、フードホール、レストラン、マーケットで構成されています。フードホールでは、東三河で生産されたこだわりの食材を使ったピザ、和食、洋食、カフェ&スイーツの4つのジャンルの食事を提供しています。マーケットでは、東三河で生産された生鮮野菜や無農薬のお茶、加工食品などを販売しています。また、レストランは飲食店を始めたい方へ場所を提供し、お客さまへメニューを提供することができるチャレンジキッチンとして活用することにより、次世代のフードクリエイターの発掘、育成の支援に取り組んでいます。



5 階 スタジオ

働く人・学ぶひとが新たな光を放つ場所 「emCAMPUS STUDIO」

5 階の「emCAMPUS STUDIO」には、中央の吹き抜けスペースから自然光がフロア全体に差し込み、それを囲むように会議室やリラックススペースが設けられています。

サーラグループは、東三河の企業や大学などと提携し、人の交流を通じた新たな学びや事業創造の場となることを目指して「企業研修」「生涯教育」「事業創造」の3つを核とする「学び」のプログラムを展開します。

また、同フロアの「**サーラまなび共創センター**」(旧サーラグループ総合研修センター)において、グループ社員の成長や充実した人生の実現につながる質の高い研修を実施します。さらに、地域で活躍する方に対して、革新的なアイデアを創出するための研修やデジタル戦略思考を高める研修などを提供することにより、地域の持続的な成長を担う人材の育成に貢献します。



emCAMPUS STUDIO 会議室



サーラまなび共創センター開所式
(左から3人目 グループ代表・CEO 神野吾郎)

サーラの暮らし商品・サービスの新展開

サーラグループは、第4次中期経営計画(2020年11月期～2022年11月期)において、リフォーム事業を大きく成長させることを目指してしています。現在の主な取組みについてご紹介します。

サーラのオリジナルキッチン 「しあわせキッチン」をリリース

2021年10月、(株)リビングサーラのリフォーム本部が中心となって、サーラのオリジナル仕様をパッケージ化した「しあわせキッチン」をリリースしました。外食の機会が減り、家庭における調理に注目が集まるなか「“おうち時間を幸せに過ごすためのラク家事”をかなえるキッチン」をテーマに、掃除のしやすさや高い収納性を備えた商品に仕上げました。今後もお客さまのニーズに応じた新商品の開発や、提案の幅を広げる取組みを積極的に行い、サーラのリフォーム事業を強化します。



「しあわせキッチン」リリース



主な特徴：お掃除がラクなハイバックカウンター

お客さまとの新たな接点づくり 「サーラプラザ365」の展開

コロナ禍に対応したお客さまとの新たな接点づくりとして、サーラプラザへのご来店やご自宅へのご訪問の事前予約受付、事業エリアごとのキャンペーン情報などを提供するウェブサイト「サーラプラザ365」を展開しています。また、サーラのアプリとの連携を図り、お客さまがスマートフォンから手軽にサービスを利用できる環境を整えることにより、お客さまとの接点強化を推進しました。



ウェブ上の窓口「サーラプラザ365」
新たな接点チャネルとして、来店・訪問予約機能やエリアごとのキャンペーン情報提供機能を備える

会社一覧 (2021年12月1日現在)

サーラグループは、当社、当社連結子会社38社及び非連結子会社7社で構成されています。

サーラグループ各社は、今後も共通の基本理念の下、互いに連携し、より一層お客さまの暮らしや地域社会に根ざした事業を展開していきます。

エネルギー&ソリューションズ事業

事業内容 都市ガス、LPガス、石油製品、高圧ガス及び関連機器の販売、電気供給事業、リフォーム、エネルギー輸送

事業エリア 愛知、静岡、岐阜、神奈川など1都11県

サーラエナジー(株)
サーラE&Lサポート(株)
(株)リビングサーラ

サーラE&L東三河(株)
サーラeエナジー(株)
サーラの水(株)

サーラE&L浜松(株)
サーラeパワー(株)
三河湾ガスターミナル(株)

サーラE&L名古屋(株)
グッドライフサーラ関東(株)
(株)日興

サーラE&L静岡(株)
サーラ物流(株)
神野オイルセンター(株)

※非連結子会社3社

エンジニアリング&メンテナンス事業

事業内容 設備事業、土木事業、建築事業、
情報通信事業、メンテナンス事業

事業エリア 愛知、静岡、東京、宮城

(株)中部
(株)鈴木組
テクノシステム(株)

神野建設(株)
(株)中部技術サービス
西遠コンクリート工業(株)

※非連結子会社4社

ハウジング事業

事業内容 注文住宅の請負・分譲住宅の販売、
建築資材・住設機器等の販売

事業エリア 愛知、静岡、三重、神奈川

サーラ住宅(株)
太陽ハウジング(株)
サーラハウスサポート(株)

中部ホームサービス(株)
(株)宮下工務店
エコホームパネル(株)

カーライフサポート事業

事業内容 フォルクスワーゲン8店舗・アウディ3店舗(正規ディーラー)、
車検・整備、オートリース

事業エリア 愛知、静岡、東京

サーラカーズジャパン(株)

アニマルヘルスケア事業

事業内容 ペット用医薬品・療法食、動物用医薬品、畜産用機械設備、
小動物医療機器の販売

事業エリア 愛知、埼玉、広島、宮城など1道1都2府15県

(株)アスコ
大和医薬品工業(株)

(株)エイ・エム・アイ

プロパティ事業

事業内容 不動産事業、ホテル事業、飲食店事業、スポーツクラブ運営

事業エリア 愛知、静岡

中部ガス不動産(株)
(株)サーラホテル&レストランズ

サーラスポーツ(株)

その他の事業ほか

事業内容 割賦販売及びリース、情報処理 等

事業エリア 愛知、静岡

サーラフィナンシャルサービス(株)
(株)エムキャンパス

(株)サーラビジネスソリューションズ
新協技研(株)

会社の概要及び株式の状況 (2021年11月30日現在)

商 号	株式会社サーラコーポレーション
設 立	2002年5月1日
本社所在地	豊橋市駅前大通一丁目55番地 サーラタワー
資 本 金	80億2,500万円
証券取引所	東京証券取引所 市場第一部 名古屋証券取引所 市場第一部
役 員	代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO 神 野 吾 郎 代表取締役専務 松 井 和 彦 取締役 鳥 居 裕 取締役 山 口 信 仁 取締役 樽 林 孝 尚 社外取締役 一 柳 良 雄 社外取締役 大久保和孝 取締役(常勤監査等委員) 山 本 卓 治 社外取締役(監査等委員) 杉 井 孝 社外取締役(監査等委員) 村松奈緒美
従 業 員 数	4,030名(連結)

発行可能株式総数 120,000,000株

発行済株式総数 66,041,147株
(自己株式11,284株を含む)

1単元の株式数 100株

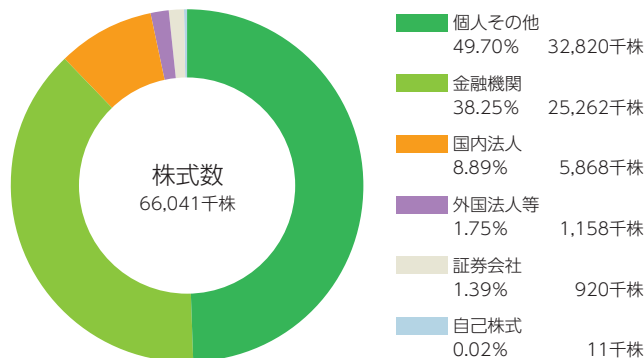
株 主 数 15,105名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
サーラコーポレーション従業員持株会	4,995	7.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,533	5.35
三井住友信託銀行株式会社	2,920	4.42
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,842	4.30
株式会社三菱UFJ銀行	2,592	3.92
サーラエナジー共栄会	2,218	3.35
株式会社静岡銀行	2,180	3.30
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	1,631	2.47
株式会社三井住友銀行	1,414	2.14
神野吾郎	1,373	2.07

● 持株比率は自己株式を控除して計算しています。

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度

12月1日～翌年11月30日

定時株主総会

毎年2月

基準日

定時株主総会の議決権・期末配当 11月30日
中間配当 5月31日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関

〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所

〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

電話照会先

 **0120-782-031**

取次窓口

三井住友信託銀行株式会社 全国本支店

公告方法

電子公告（当社ホームページに掲載します）
<https://www.sala.jp/>
ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

住所変更など各種事務手続きに関するお問い合わせ先

- ◎証券会社に口座を開設されている株主さまは、お取引のある証券会社にお問い合わせください。
- ◎証券会社に口座がないため特別口座で株式を保有されている株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社（下記お問い合わせ先）にお問い合わせください。

未払い配当金のお受け取りに関するお問い合わせ先

- ◎株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社（下記お問い合わせ先）にお申し出ください。

お問い合わせ先

三井住友信託銀行株式会社

 **0120-782-031**（通話料無料）

受付時間：土・日・休日・年末年始を除く午前9時～午後5時

生活に ファイン クオリティ

sala

お問い合わせ先

株式会社 サーラコーポレーション

総務部 総務グループ ☎0532-51-1182 E-mail : ir@sala.jp



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。